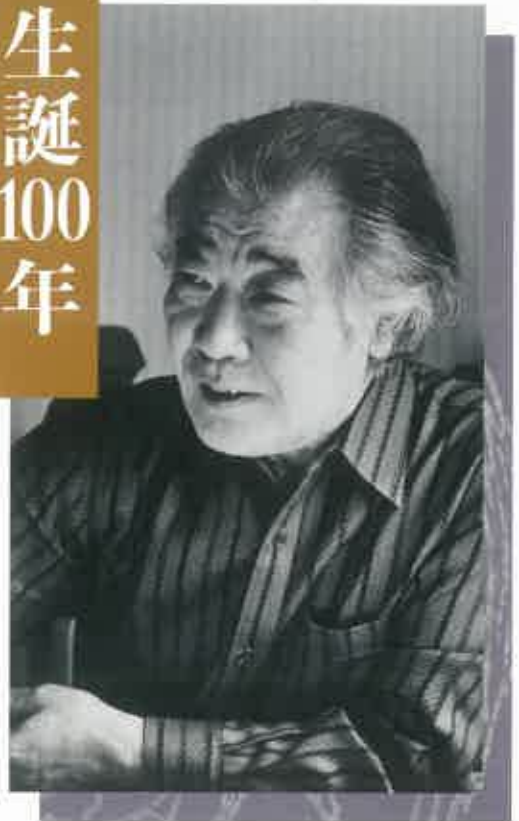


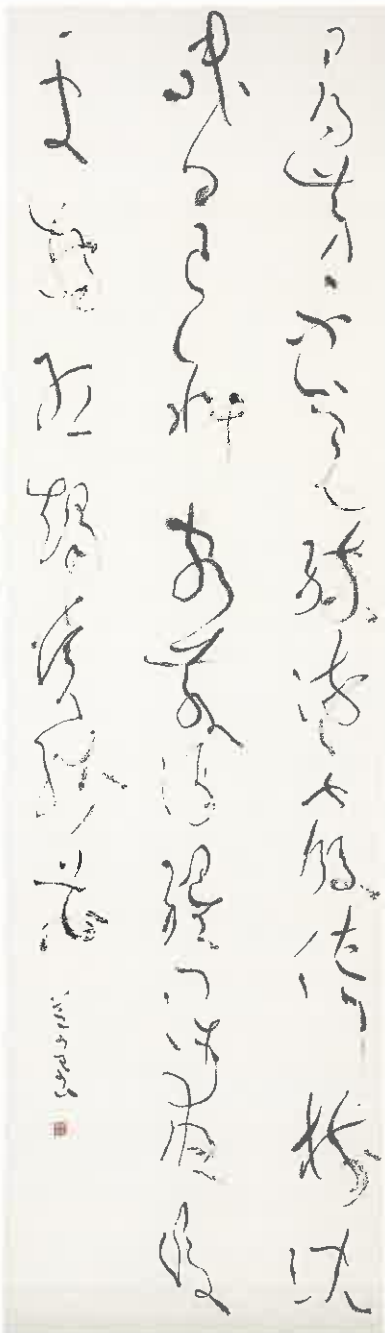
生誕100年



# 松下芝堂展

まっした しじゅう

円転自在な淡墨の書



「花下醉」1997年  
改組第29回日展日本芸術院賞(日本芸術院所蔵)

令和8年 6.27  7.12 

会場	豊橋市美術博物館1階展示室3・4
休館日	月曜日
開館時間	9:00-17:00
主催	興文会・豊橋市美術博物館

観覧  
無料



豊橋市美術博物館  
TOYOHASHI CITY MUSEUM of ART & HISTORY

生誕100年

まつしたしげお

# 松下芝堂展

## 円転自在な淡墨の書

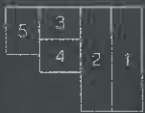
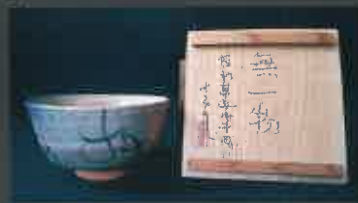
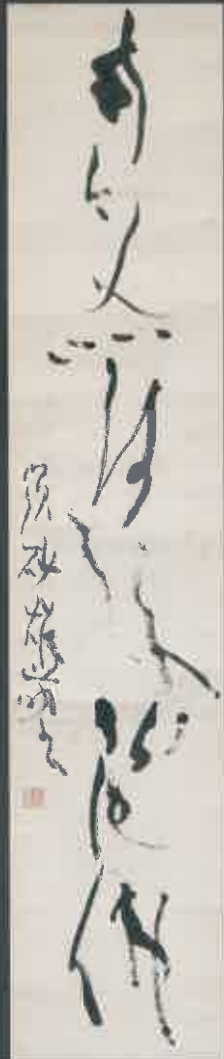
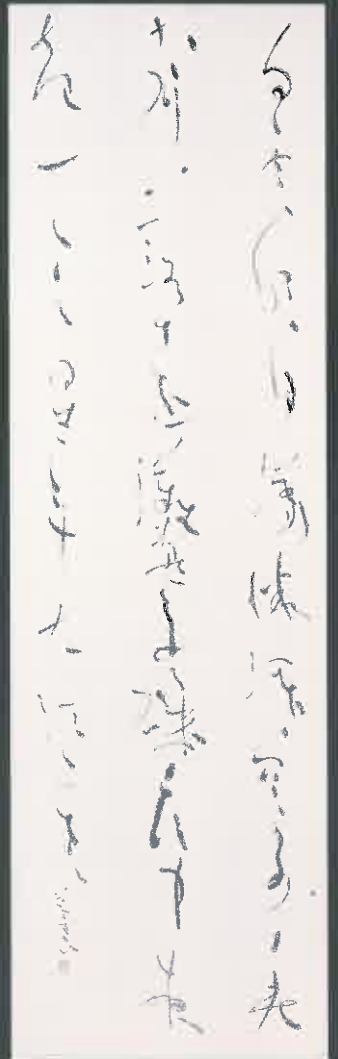
愛知県豊橋市前芝町に生まれた松下芝堂(1926-2009)は、淡墨による流麗な書風を確立した郷土を代表する書家です。

幼少時に田原市出身の書家・鈴木翠軒(すいけん) (1889-1976)が手がけていた国定教科書の習字手本に魅了され、1947年より師事して王羲之「黄庭経」や空海「三十帖策子」など幅広い古典を学びながら自身の書を確立しました。翠軒の代表作「万葉千首」の料紙を手がけたことでも知られています。

1955年の日展初入選以降、同展で59、61年に特選受賞、無鑑査出品を経て63年に会員に推挙され、以後たびたび審査員や要職をつとめ、1994年には日展で文部大臣賞、98年には日本芸術院賞・恩賜賞を受賞し、書家としてゆるぎない地位を築きました。また、愛知県津島市を拠点に有根会、興文会を設立し、門人を育成するなど中部書壇の振興にも寄与しています。

本展は芝堂生誕100年を記念し、生地豊橋で初めてその書歴を回顧するものです。「花下醉」(日本芸術院蔵)や「江行」(豊橋市美術館蔵)など代表作を含めた約70点の書のほか、日比野五鳳に学んだ料紙と版木、陶芸作品などをあわせて紹介することで、その表現活動を幅広く展覧します。

きばらず、自然体で書に臨むことを信条とした、芝堂の美しい淡墨の世界をご堪能ください。



1「江行」1994年  
改題「江行」文部大臣賞(豊橋市長美術館蔵)  
2「南無御弥陀仏」1969年  
3「富士図」1955年  
4「無一物」  
5「万葉集」柿本人麿の歌

### 松下芝堂 略年譜

- 大正15年 愛知県豊橋市に誕生
- 昭和22年 本名は須砂雄
- 昭和30年 鈴木翠軒に師事
- 昭和34、36年 日展初入選
- 昭和37年 日展特選「苞竹賞」を受賞
- 昭和38年 日展菊花賞を受賞
- 昭和39年 日展審査員(以後10回)
- 昭和43年 日展評議員
- 昭和45年 有根会を設立
- 昭和59年 読売書法会理事
- 平成6年 日展文部大臣賞を受賞
- 平成10年 興文会を設立、会長に就任
- 平成11年 日展出品作品「花下醉」にて第54回恩賜賞・日本芸術院賞を受賞
- 平成12年 日展常務理事
- 平成14年 中部日本書道会副会長
- 平成18年 勲四等旭日小綬章を受章
- 平成21年 日展参事
- 令和4年 5月25日永眠、享年82歳
- 春日井市道風記念館にて企画展「松下芝堂」開催



【交通機関】JR・名鉄「豊橋」駅前より市電乗車  
「豊橋公園前」下車 北へ250m  
【自動車】国道1号線「八町通三丁目」交差点を北へ  
(駐車場70台・駐車券処理で3時間無料)

## 豊橋市美術博物館

TOYOHASHI CITY MUSEUM OF ART & HISTORY

〒440-0801  
愛知県豊橋市今橋町3-1(豊橋公園内)  
TEL 0532-51-2882  
FAX 0532-56-2123  
<https://toyohashi-bihaku.jp/>



### 記念講演会

演題:「生誕100年 松下芝堂と翠軒流」  
講師:天野敏規氏(田原市博物館館長)  
日時:令和8年7月4日(土) 午後2時~  
会場:豊橋市美術博物館1階講義室ほか